

NHK公開録画で 楽しい時間を満喫

10月11日、産業文化会館ホールで行田市合併10周年を記念し、NHKさいたま放送局との共催でNHK Eテレ「みいつけた!ステージでショー」の公開録画が行われました。

番組でおなじみのコッシー、スイちゃん、サボさん、オフロスキーの他、スペシャルゲストのサボダイゴさん、さぼはらさぼえちゃんも登場し、親子一緒に歌やダンスなど、楽しいステージで盛り上がりました。なお、この模様はNHK Eテレで11月23日月午前9時から放送予定です。



©NHK-NHKエデュケーショナル

田んぼアートが立体的に

10月18日、田んぼアートの稲刈り体験が行われました。

田んぼアートで描かれている地球部分を刈り取るイベントに、今年は231人が参加。子供たちは自分で植えた稲を刈ったり、腕いっぱい抱えてコンバインに運んだりしていました。図柄部分が立体的に見えるようになった田んぼアートは、11月14日ごろまで楽しむことができます。ぜひ、古代蓮会館の展望室からご覧ください。



応急手当の重要性を改めて確認

今年度からスタートした、市内全ての中学2年生を対象にした救命講習。9月30日には、第1回目となる講習が行われ、埼玉中学校の生徒44人が参加しました。

講習では、応急手当の重要性を訴えかけるビデオ「命の記録MOVIE~ASUKAモデル~」を上映。その後、救急救命士の指導のもと、心肺蘇生法やAEDの使用方法を学びました。応急手当を実践することで、知識や技術を身に付けることができた生徒たちは「万が一のときでも、今回習ったことを役立てたい」と頼もしい表情で今回の講習を振り返っていました。



常総市での復興支援に参加

台風18号に伴う大雨により甚大な被害を受けた茨城県常総市の復興支援を行うため、10月9日に本市の災害ボランティア登録者などが活動に当たりました。

この活動に参加したのは、本市の災害ボランティア登録者の他、市の防災安全課と行田市社会福祉協議会の職員の計22人。現地では、水に漬かり使えなくなった家財の搬出や汚泥の除去作業などを行いました。社会福祉協議会の職員は「再び活気のある街並みに戻るまで、まだまだ時間がかかる印象を受けました。やすらぎの里では義援金の受け付けを行っているので、皆さんからのご支援をお願いしたい」と訴えていました。



宇宙の魅力に触れて

9月23日、古代蓮会館工作室で「はやぶさ講演会」が行われました。

この講演会の講師を務めたのは、JAXA(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)の職員で、小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクトチームの一員として活動に当たった並木道義さん。並木さんは参加者128人に対して、はやぶさが絶体絶命のピンチを乗り越え、小惑星イトカワのサンプルを採取し、帰還するまでのエピソードを分かりやすく紹介しました。また、昨年12月に打ち上げられた「はやぶさ2」の近況なども報告。子供たちは宇宙の魅力に触れることができ、「知らなかった宇宙の世界に興味を湧いた」「はやぶさ2を応援したい」と興奮した様子で感想を述べていました。



仲間からの声援を力に

10月7日、総合公園自由広場で第61回連合運動会が開催されました。

この大会で行われたのは、「100メートル走」や「60メートルハードル」など短距離種目をはじめ、「1,000メートル走」といった長距離種目など7種目。各小学校の代表選手たちは、入賞や自己ベスト更新などを目指し、それぞれの競技に臨みました。仲間や保護者からの大きな声援を受け、選手たちは思う存分練習の成果を発揮していました。

行田ロータリークラブが 120冊の児童書を寄贈

10月15日、市立図書館で行田ロータリー文庫の贈呈式が行われました。

これまで行田ロータリークラブから寄贈された行田ロータリー文庫の数は、4,425冊。今回も児童書120冊が寄附されました。寄贈を受けた森教育長は「これまで寄贈してもらった本は、読み聞かせ活動を行っているボランティアや小さなお子さんを持つ親御さんに広く利用されています。今回の寄贈を機に、さらに子供たちが読書するきっかけになればいいなと思います」とコメントしました。



秋の味覚と ボランティア活動に親しむ

9月26日、行田市総合福祉会館やすらぎの里で「サツマイモ掘り・ボランティアカフェ」が開催されました。

昨年に続き2回目の開催となるこのイベントに、小学生や親子など25人が参加。子供たちは夢中になって、自分の顔より大きな芋を掘り出していました。その後は、スイートポテト作りに挑戦したり市内のボランティア団体と交流したりと、参加者は秋の味覚を味わいながら、福祉への理解を深めることができたようです。

